

## 第2次志摩市総合計画・後期基本計画の振り返り

本市では、令和3年3月に第2次志摩市総合計画後期基本計画（計画期間：令和3年度～令和7年度）を策定し、まちの将来像である「住む人支え 来る人を迎える 豊かな里と海のまち」の実現をめざし、6つの基本目標を設定し、各種施策・事業に取り組んでいます。

この度、新たな計画の策定にあたり、これまでの計画の進捗状況等について振り返ります。

### （1）具体的な取組の状況

後期基本計画がスタートした令和3年度以降、新型コロナワクチン接種等の感染防止対策や事業者支援等の地域経済対策など、新型コロナウイルス感染症への対応に注力しつつ、まちの将来像の実現をめざし、主要な課題である「人口減少対策」、「地域産業の振興」、「防災・減災対策」の分野を中心に、「新陳代謝」をキーワードにさまざまな取組を進めてきました。

「人口減少対策」の観点では、安心できる子育て環境の充実に向け、出産祝金の創設や小中学校の学校給食費の完全無償化などの子育て世帯の経済的負担の軽減に取り組むとともに、放課後児童クラブの学校敷地内への移転を図りました。また、児童・生徒1人1台タブレットをはじめとした学校ICT環境の整備を進めました。

「地域産業の振興」に向けては、漁場環境の調査や磯焼け対策として漁業者と連携した食害生物の駆除等に取り組むとともに、豊かな自然環境を生かした教育旅行等の誘致拡充や、鉄道やタクシー等の公共交通と連携した観光活性化の取組を推進しました。

「防災・減災対策」では、南海トラフ地震等の大規模災害への備えとして、逃げ遅れゼロをめざし津波避難タワーの整備を進めるとともに、幼保園（こども園）や消防署分署等の高台移転を実施しました。避難所運営充実に向けた整備や地域防災力の強化等のソフト対策にも取り組んできました。

### これまでの主な取組



学校給食の無償化



学校ICT環境整備



磯焼け対策（食害生物の駆除）



教育旅行の誘致拡充



津波避難タワーの整備



幼保園（こども園）の高台移転

後期基本計画の4年目となる令和6年度においては、6つの基本目標に向け、以下の取組を着実に進めました。

基本目標	令和6年度の主な取組内容
1. 自然とともに生きるまちづくり	脱炭素の取組として、国の交付金を活用し、市民・事業者の太陽光発電設備設置や高効率省エネ機器導入等の推進を図りました。生活排水対策では、引き続き合併処理浄化槽の設置を進めるとともに、下水道への接続に対する補助を行いました。また、水道管の耐震化や老朽化対策についても計画的に取り組みました。
2. 安全・安心なまちづくり	津波避難タワーの計画的な整備など、能登半島地震の被災地における支援活動で得られた気づきを基に、避難所環境の整備や災害対策用トイレトラックの配備などの対応を行いました。また、市管理の準用河川に水位計及びライブカメラを設置するなど、大雨や台風への対策も進めました。消防では、ドローン等の先進技術を取り入れた消防資機材等を導入するなど、高度化を図りました。地域公共交通ネットワークの構築に向けては、大王・志摩・阿児地区のデマンド交通の実証運行に取り組みました。
3. 産業が元気なまちづくり	持続可能な地域産業をめざし、漁場環境調査や磯焼け対策に取り組むとともに、農業生産者の育成や獣害対策等に取り組みました。雇用対策の関係では、市内の労働力確保に向けて市内企業・若年層に対する支援や情報発信を進めるとともに、業務改善や生産性向上に向けて市内企業のデジタル化に取り組みました。観光分野では、食・文化・自然などの地域資源を活用した情報発信や特産品PR等により志摩市のファンづくりを進めるとともに、将来のリピーター獲得に向けた学校団体・学生合宿の誘致拡充のほか、鉄道やタクシー等の公共交通を活用した市内の周遊事業を推進しました。インバウンドの取り込みに向けては、香港、台湾、タイ、シンガポールへのトップセールスを行い、誘客促進や產品プロモーションを図りました。
4. 誰もが健やかで助け合うまちづくり	誰もがつながりあい自分らしく暮らせるまちをめざし、多機関が連携した誰一人取り残さない包括的な支援体制の構築に取り組み、多様な地域活動を生み出す地域拠点づくり事業を進めました。少子化対策の観点からは、子育てつながるギフト支給事業の実施や、こども医療費助成事業の拡充、病児保育の無償化、第1子からの出産祝金の継続や全小中学校の学校給食費無償化の継続など、子育て世帯の経済的負担の軽減に取り組むなど、地域で安心して子育てができる環境づくりを進めました。
5. 人と文化を育むまちづくり	「生きる力」を育む教育の推進に向け、学力向上推進事業に取り組むとともに、子どもの居場所づくり事業を進めました。また、しまらぶ給食を通じて地域ならではの食育の推進を図りました。未来を創る人材を育む教育の観点からは、本市と縁が深いパラオ共和国への中学生海外派遣を行いました。市内の県立高校の生徒数確保に向けた支援策としては、市外出身生徒の下宿費の補助を開始しました。生涯スポーツの面では、やいきde健幸アプリを導入し、時間と場所を選ばず気軽に体力づくりに取り組む機会の創出を進めました。
6. 市民のために市民と築くまちづくり	ふるさと応援寄附事業を推進し、過去最高額の寄附を受け入れ、自主財源の確保につなげました。行政運営のDX推進に向けて、窓口におけるキャッシュレス決済の導入をはじめとしたデジタルによるサービス向上を進めるとともに、クラウドサービスや生成AIの活用など、デジタルを活用した庁内業務の効率化を図りました。また、地域活性化起業人制度を活用し、民間企業からの派遣人材が持つノウハウや知見を取り入れながら、地域課題の解決に向けた取組を進めました。



災害用トイレトラック配備



デマンド交通実証運行



インバウンド・トップセールス



病児保育無償化



中学生海外派遣



窓口キャッシュレス決済導入

## (2) 各施策の主な成果指標の達成状況

後期基本計画においては、6つの基本目標にかかる33の施策に対して、計99の成果指標を設定しています。

令和6年度までの4年間の取組実績に基づく成果指標の達成状況は、以下のとおりです。

計画全体では、「A：進んだ」及び「B：ある程度進んだ」（成果指標の目標値に対する達成度80%以上）の項目が占める割合は、約70%となっています。

基本目標ごとに個別に見ると、「3.産業が元気なまちづくり」及び「5.人と文化を育むまちづくり」については約50%程度と低くなっています。一方、その他の基本目標については、約80%程度となっています。

基本目標	A	B	C	D	合計
1. 自然とともに生きるまちづくり	4	6	1	1	12
2. 安全・安心なまちづくり	8	6	1	3	18
3. 産業が元気なまちづくり	4	4	4	6	18
4. 誰もが健やかで助け合うまちづくり	7	12	2	3	24
5. 人と文化を育むまちづくり	2	4	4	2	12
6. 市民のために市民と築くまちづくり	9	3	2	1	15
合計	34 (34.3%)	35 (35.4%)	14 (14.1%)	16 (16.2%)	99 (100%)

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】

A：進んだ（100%以上）

C：あまり進まなかつた（60%以上80%未満）

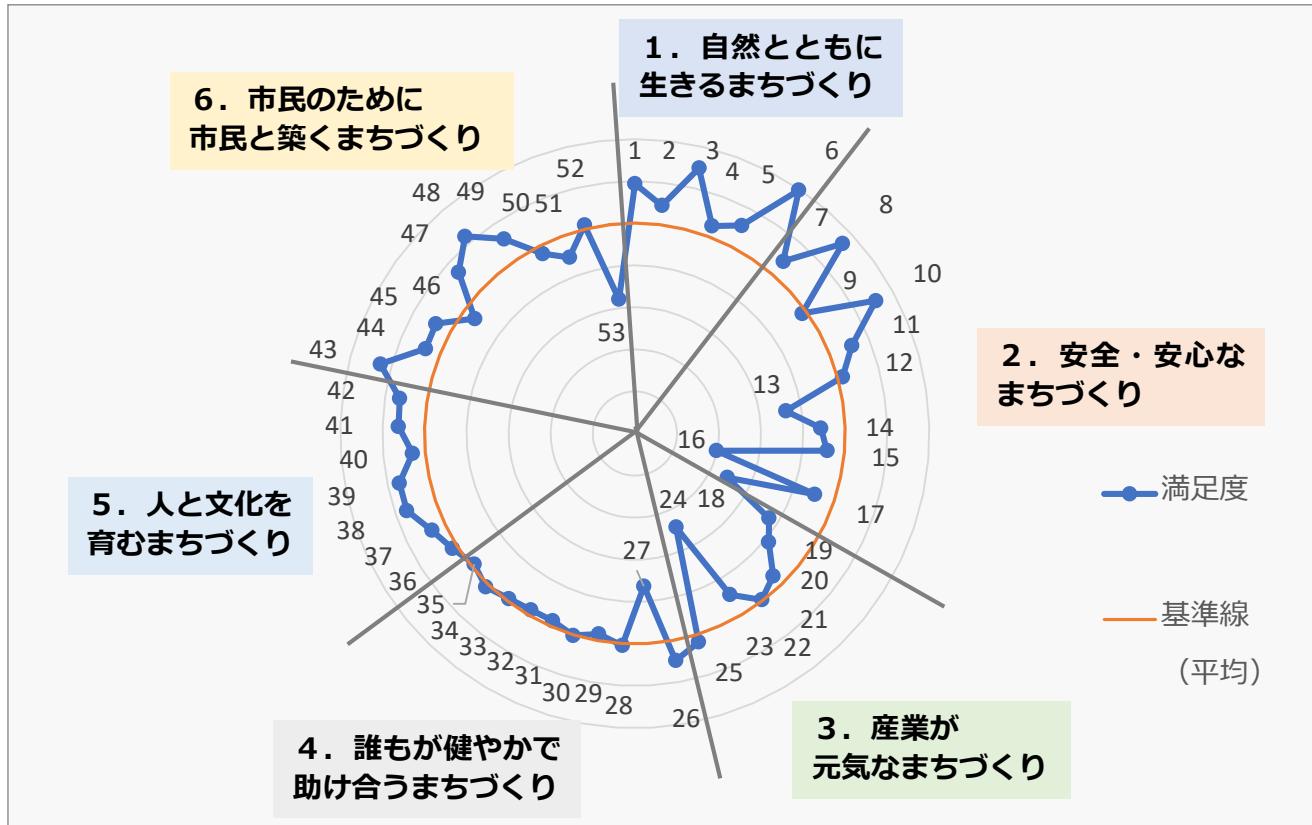
B：ある程度進んだ（80%以上100%未満）

D：進まなかつた（60%未満）

### (3) 市民アンケートにおける施策の満足度

令和7年2月～3月に無作為抽出した市民3,000人を対象に実施したアンケートの結果では、各分野における満足度は、以下のとおりです。

「3.産業が元気なまちづくり」では、全体的に平均を下回る中、特に雇用面の満足度が低くなっています。「2.安全・安心なまちづくり」では、コロナ対策や消防・救急体制は評価されているものの、まちの環境（空家・公共交通）の観点では満足度が特に低くなっています。「4.誰もが健やかで助け合うまちづくり」では、地域医療・救急医療の満足度が特に低くなっています。「6.市民のために市民と築くまちづくり」では、人口減少対策への満足度が特に低くなっています。



※対応する項目内容は、次ページに記載

### (4) 新たな総合計画の策定に向けて

現行計画を振り返ると、「1.自然とともに生きるまちづくり」は、計画の達成状況と市民の満足度の両方ともが高い状況となっており、一定程度は評価できるものと考えられます。一方で「3.産業が元気なまちづくり」は計画の達成状況と市民の満足度の両方ともに低い状況となっており、まちの賑わいを創る地域経済の活性化や若者をはじめとした雇用対策に重点的に取り組む必要があると考えられます。「2.安全・安心なまちづくり」では、空家対策・公共交通の充実が市民の満足度の中で大きな課題として表れており、暮らしのまわりの課題を解決し、日々の生活の安心を確保していくことが重要と考えられます。「4.誰もが健やかで助け合うまちづくり」では、市民の満足度の低い地域医療・救急医療の確保に加え、これからさらに高齢化が進行する中においては、包括的な支援体制の構築が重要になると考えられます。

新たな計画においては、持続可能なまちづくりに向けて、本市の持つ強みを生かしつつ、さまざまな分野において本市の抱える課題を一つずつ解決し、誰もが住み続けたいと思えるまちをつくることが求められます。

## ＜参考＞市民アンケート結果における施策の満足度

※赤字は平均値（50.00）以下

基本目標	No.	項目内容	満足度
1.自然とともに生きるまちづくり	1	自然環境の保護・再生	59.37
	2	景観に配慮したまちづくり	54.59
	3	ごみ処理・リサイクルの推進	64.93
	4	地球温暖化等の環境問題への対策	52.64
	5	上水道・生活排水処理施設の整備	55.56
	6	火葬場・墓地の整備	69.73
2. 安全・安心なまちづくり	7	地域防災力向上や避難環境整備等の防災対策	54.05
	8	新型コロナ感染症拡大など有事の危機管理	66.89
	9	自然災害へ備えた河川・海岸・砂防の整備	48.93
	10	消防・救急体制の充実	65.36
	11	交通安全・防犯対策の充実	55.67
	12	消費者教育や消費者相談等の充実	51.18
	13	地域の特性に応じた計画的な土地利用の推進	36.29
	14	公園・緑地の整備	44.24
	15	市営住宅供給、耐震化支援等の住環境整備	45.85
	16	空家の取り壊しや利活用など空家等対策の推進	19.80
	17	道路の整備・道路環境の向上	45.14
	18	鉄道、バス、航路等の公共交通の充実	24.33
3. 産業が元気なまちづくり	19	生産基盤整備や獣害対策等の農業振興	37.69
	20	漁場環境改善や資源管理等の水産業振興	40.96
	21	経営支援や創業支援等の商工業振興	47.17
	22	地域内外の連携による観光誘客対策	49.73
	23	観光施設や観光交通の整備	44.45
	24	産業創出や企業誘致等による雇用の場の確保	24.28
4. 誰もが健やかで助け合うまちづくり	25	地域資源を活用した「志摩」ブランド化	51.81
	26	生涯を通じた健康づくりの推進	54.83
	27	地域医療、救急医療体制の充実	36.35
	28	福祉の総合相談体制、地域支援の充実	50.48
	29	国民健康保険等、社会保障の充実	48.41
	30	高齢者の社会参加、生きがい対策の充実	50.17
	31	介護予防活動、介護保険サービスの充実	48.60
	32	障がい者(児)へのサービスの充実	48.66
	33	子育て支援の充実	49.37
	34	人権啓発の連携組織やリーダー育成	50.84
	35	性別等に関わらず活躍できる社会の推進	49.22
5. 人と文化を育むまちづくり	36	学校教育の充実	51.24
	37	青少年健全育成の推進	53.45
	38	生涯学習機会、図書館等施設の充実	57.22
	39	学校や生涯学習での人権教育の推進	57.18
	40	生涯スポーツ活動、体育館等施設の充実	53.05
	41	文化財の保存・活用	56.21
6. 市民のために市民と築くまちづくり	42	市民の芸術・文化活動の振興	56.51
	43	市役所の窓口サービス向上	62.71
	44	行政サービスのデジタル化	53.68
	45	近隣市町との連携による行政サービスの提供	54.02
	46	市役所の事業見直しなど財政の健全化	46.86
	47	ふるさと納税の推進等による財源確保の強化	56.78
	48	市役所からの広報・情報提供の充実	61.86
	49	まちづくりへの市民参画、市民活動支援	55.77
	50	自治会活動等の住民自治基盤の強化	48.05
	51	企業や大学等との連携促進	44.67
	52	国際交流・多文化共生社会の推進	50.99
	53	移住・定住の促進による人口減少抑制	32.16